

ご近所のお医者さん

□
532
□

保坂小児クリニック院長 **保坂泰介さん** 一枚方市



最新の医学理論や計算式を基にいろいろな流行予測もされていますが、正確に予測できているかどうかは判断が難しいところ。欧米と東アジアの感染率の大きな違いの理由さえ不明です。それもそのはず、新型コロナウイルスは未

2020年前半の世界は、突然コロナ危機に見舞われました。連日、マスクやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)では感染症専門家なる人々を含め多くの医師仲間が登場し、さまざまな意見を述べています。

ウィズコロナ時代を感じたこと

知のウイルスだからです。

20世紀から21世紀にかけて科学と医学は大きく進歩し、一部の人はウイルスの性質や免疫の仕組みはほとんど解明されたと思いついていますが、実はまだ分からないことだらけなので

査が次々に登場しますし、新しい知見が生まれて、それまで常識と思われた医療が否定されることも多々あります。完成することなく永遠に進歩し続ける医学の最新バージョンを常に学び続け、知識や技術をアップデートして、現時点でのベストとなる医療を提供することを心掛けたと思います。医師になって思うことは、この仕事を

医学は永遠に未完成

す。現在も人類は自然界の法則のごく一部しか理解していないことを実感させられます。

そんな中でも、日々、医療機関を訪れる患者さんに対して、私たち医療者がやるべきことはずっと昔から同じです。病状経過を詳しく聞き、丁寧に診察を行い、病状を評価して分かりやすく説明し、最適な治療を提供することです。一方で、先ほど述べたように医学は日進月歩であり、新たな薬剤や検

々の学びはそれなりに大変ではありませんが、自身の成長を実感できますし、何よりも毎日の診療や予防接種、健診を通して、社会の宝である子どもたちの一生の土台となる心身の健康を支援するということ、とてもやりがいのある大切な役割を担っているのですから。受診を終えた親子が「ありがとうございます！」と言ってくれた時は、こちらこそ「倍返しでありがとう！」という気持ちになります。

を選んで本当によかったということです。日